

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ぶらっと				公表日	2026年3月9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	学習室があり集中できる環境を整えられている。またゲームなどのエリア分けもできている。	子どもたちがダイナミックに体を動かして遊ぶには限界があるため、そのような活動は別に設定し体育館の使用等を活用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	社会福祉士・精神保健福祉士の配置と、人員基準以上の人員配置で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	障がい者用のトイレの設置、コンセントの位置などユニバーサルデザインを採用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃を実施している。また、自習室や面談室、活動フロアなど目的によって活動空間を明確にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	プログラムの内容やお子様の状況に合わせて、適宜部屋を分けて活動をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎月の全体ミーティングや、スタッフミーティングを定期的実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	アンケートの活用や意向の聞き取りについては、継続して実行している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日々の朝礼や振り返りにて、職員間で話し合い、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	設置していない	今の所、第三者による外部評価の予定はないが、今後そのような機会の導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内研修、外部研修など積極的に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	企画・立案については、目的をもってその都度実施し、公表している。また、集団での関わりについて、個別児童毎の支援について検討し、サービスの統一を図っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	モニタリング会議は、都度実施している。その際に、必要があれば計画を見直し、説明と同意を得ている。また、毎月個別に活動等の評価を実施しており、その中で支援方針の検討をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	会議を行い、活動等の評価を踏まえながら検討し、作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員間にて共有し、計画に沿った支援や活動を行うよう日々振り返り等を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	障害特性に合わせたインフォーマルなアセスメントの実施をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っている。本人支援だけでなく、保護者や学校、関係機関等に関しても必要に応じて対応している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	企画・立案については、目的をもってその都度実施している。また、集団での関わりについて、個別児童毎の支援について検討し、サービスの統一を図っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	集団での支援が中心となっているが、定期的に活動プログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	特に休日開所日などは集団での活動を主しながら支援できている。個別活動については、完全個別での対応は少ないが集団の中で個別アプローチを検討し、支援を行っている。	集団での活動が中心となっているが、学習支援（宿題への取り組み）等については、個別での対応となっている。計画作成については、個別対応での取り組みについて、触れていない所もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	活動終了後と朝礼で、引継ぎや活動などの確認を必ず行っている。その際に、職員の役割などについて話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後、職員間で必ず振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援記録は、細かく記載するように心がけている。また、月毎の記録についても、担当者を決めてまとめるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	半年に一度、相談支援事業所や関係機関とも情報の交換をしながら実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	まだまだ至らない事も多くあるが、日常生活動作をスモールステップで訓練し、達成感を得ながら成功体験を積めるように支援している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動の中で、子どもたちが自分で選択したり意思表示できるような機会を設けています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	基本的には、児童発達支援管理責任者が出席し、必要に応じて当該児童との関わりが深い担当者が同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	学校と情報連携会議を実施している。また、必要に応じて福祉課、保健師、医療機関等との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校から学年通信等を毎週いただき、情報の共有を図っている。また、各学校とも定期的に情報共有の場を設けてもらい話し合う機会を設定している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	関係機関との情報共有については、積極的に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	契約の際に同意書をいただき、必要があれば情報提供をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	適宜、町内の児童発達支援センターと情報連携をおこなっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	障害のない子どもとの活動は実施できていないが、教育大学の学生や老人ホームの高齢者と交流の機会を設けた。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	開催ごとに必ず参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳の活用や、送迎時の情報交換等を通して事業所内での情報だけではなく、学校での様子なども含めて情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	送迎時に支援を実施している。また、今後予定している保護者懇談会等での実施の検討を進める。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	新規利用開始時や、内容の変更等があった際には説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	父母懇談会や送迎時に情報を共有しながら随時確認をしている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談を行い、お子様の事業所での様子をお話ししながら、計画内容の説明を行い、同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	相談については、できるだけお答えできるように体制を整えている。また、必要な助言等ができるように職員の質の向上に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	父母懇談会は、年に1～2度は開催するように企画している。今年度はすでに1回実施している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	事業所では、苦情対応マニュアル等を作成し、お子様にとって不利益とならぬように必要な対応ができる準備は整えております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ぶらっと通信の発行や、連絡ツール、HPを活用しながら都度必要な情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	十分に注意し管理しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	お子様の特性に合わせた伝え方をしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	地域住民を招待するような、事業の実施はできていないが、老人ホームの方々との交流事業を実施した。	イベントごとなど地域や近隣住民を巻き込みながら実施できるような企画を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルは策定済みであるが、周知といった点では、保護者様への理解は進んでいないと感じる。今後は、会報や懇談会を通してお伝えできればと考えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPを策定している。また、定期的に消防署と合同にて避難訓練等の実施を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	フェイスシートの提出をお願いし、またその都度服薬状況の変化や予防接種の予定をお聞きしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	初回のアセスメント時での聞き取りやフェイスシートに記入をお願いしている。食事提供の際には、アレルギーの有無について確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を策定し、計画に沿って研修等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	熱中症等の注意喚起など、お知らせすべき事項がある際は、保護者へメール等で周知している。	安全計画について、より保護者の方への周知を強化して行きます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	毎月の定例会議において、ヒヤリハットについては確認し、その事例をまとめるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年に2回、法人内で実施している虐待防止研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束について内部研修を行い、対象児童が在籍した際、対応できるよう準備している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぶらっと

公表日 2026年3月9日

利用児童数

28家庭

回収数

11家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	4	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	4	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	1	子供の特性において理解はしていただいていると思います。	特性理解だけでなく、専門性の向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0	送迎時に心配事を伝えている状態です。（LINEも活用しています）	モニタリングの実施が遅れてしまい大変申し訳ありません。面談の機会をしっかりと設定させていただきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	2	3		地域の子どもと活動する機会は設定していませんが、今年度も心と園さんとの交流事業を実施しました。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	1		保護者懇談会の実施はありましたが、勉強会の開催はありませんでした。今後検討してまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	1	0	※無記入1	定期的な面談に加え、適宜必要な助言等ができる体制を整えてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	0	3	参加したことがあまり無いのでよく分からない。 ※無記入4	今年は保護者懇談会の開催と、クリスマス会では、ご家族、ごきょうだいが参加できる企画を実施しました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	0	※無記入4	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0	※無記入4	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	0	※無記入4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0	※無記入4	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1	2	※無記入4	防災・避難訓練等の実施は行なっていますが、今後は緊急時対応について保護者への周知、説明を徹底してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2	0	2	※無記入4	併設されているグループホームと合同で消防署に協力いただき防災訓練を実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1	0	2	※無記入4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	3	※無記入4	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	※無記入4	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	1	0	※無記入4	楽しみや期待感を持って通所できるよう、平日プログラムや開所日の企画を検討してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	0	※無記入4	
	30	休日開放の内容に満足しているか	5	1	1	0	※無記入4	普段の活動では体験できないワクワクした企画を検討してまいります。
	31	休日開放、平日プログラム含め希望する活動や、ご意見ご要望があればご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす ・余り魅力を感じていない様子です。非日常の体験（映画を見に行く）などあればいいのかな？と思います。 ・買い物、おかし作り、体育館遊び、さんぽ、ネイル、化粧、夏まつり、ドライブ。 ・日常生活で生きて行くために自分で必要なことを体験（料理など）できるプログラム。 					ありがとうございます。お出かけ企画等を含め、生活スキルにつながる企画を検討してまいります。
	32	学習支援の実施（取り組み）内容に満足しているか	6	0	0	1	※無記入4	
	33	学習支援について、ご意見ご要望がありましたら、ご記入ください	・本人のやりたい気持ちを尊重して色んな提案問題をみて頂き助かっています。					ありがとうございます。今後も、お子様の学習状況や苦手な手に寄り添いながら取り組んでまいります。
	34	連絡帳の配信を利用したやりとり（連絡ツール）に満足しているか	7	0	0	0	※無記入4	
35	送迎時の対応や引き継ぎ・報告に満足しているか	6	1	0	0	しばらく利用していませんが職員さんによっては、形式的と感じることもありました。 ※無記入4	職員のスキルアップを通して利用者様の利益につながる支援を実践してまいります。	

36	関係機関（学校やセンター）との連携・対応に満足しているか	10	1	0	0		
37	保護者向けの勉強会や懇談会があれば参加してみたいか	6	4	1	0	・なかなか都合つけられず難しい。 ・勉強会は参加したい。	内容を検討しながら、保護者様とお子様にとって有意義なものの実施を検討してまいります。
38	具体的に知りたいテーマや、聞いてみたい話があればご記入ください					<ul style="list-style-type: none"> ・実行機能の支援方法について（勉強など）、白黒思考のとらえ方対応方法など。 ・進路の事、選択肢など ・宿題の他に療育的（課題）なものその日に絶対してもらおう等そのような設定はありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後の保護者懇談会や勉強会の実施に向けて参考にさせていただきます。 ・基本的に宿題の取り組みの後は自由活動（平日プログラムの実施）としていますが、お子様の特性に合わせながら継続して取り組む課題等の実施も行なっております。
39	ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください					<ul style="list-style-type: none"> ・長かった不登校が落ち着き毎日登校し授業にも積極的に参加するようになったので放課後に学習の場として利用できるようなればありがたいと考えています。 ・常に要望は言っています。（送迎時、ライン、電話） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日も教育大学の学生に協力してもらい、オンラインでの学習支援を実施していますので、そのような機会を有効に活用できるよう体制を整えてまいります。 ・日々の利用の中で、ご意見やご要望などを聞くことがあります。これらを真摯に受け止め、これからも皆様により、たとえ時間のかかる案件であっても、解決に向けて努力してまいります。

事業所名 ぶらっと

公表日 2026年3月9日

利用児童数 28家庭 (33名)

回収数 12家庭 (13名)

チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 ぶらっとは楽しいですか	12	0	0	0	0	※無記入1	もっとみんなと一緒に楽しいことを見つけていきましょう！
2 平日プログラム（体育館遊びや製作など）は満足できていますか	11	0	0	0	1	※無記入1	たくさん体を動かしたり、季節の製作をおこなったり、時には頭を使ったゲームなども取り入れながら、楽しい時間ももちろん新しいことに挑戦できる活動を取り入れていきたいと思ひます。「できた」を「自信」につなげていきましょう！
3 ぶらっとでやってみたい活動や遊びがあればおしえてください						<ul style="list-style-type: none"> ・遠足 ・野球 ・ぬいもの（ポーランド制作） ・バレーボール ・ふうせん <ul style="list-style-type: none"> ・マリオパーティー ・とび箱 	
4 開所日はたのしいですか	11	0	0	0	0	※無記入2	
5 楽しかった開所日企画をおしえてください						<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろありすぎて ・体育館あそび ・ノロッコ ・なつまつり ・ハロウィンのは装 <ul style="list-style-type: none"> ・チョコバナナ作り ・学習支援 ・クリスマス ・ハンバーガー作り 	今後も取り組みそうなものはぜひ、取り入れていきたいと思ひます。また新たな企画もみんなの意見も聞きながら、日々検討していきまひます。
6 またやってほしい企画や活動があればおしえてください						<ul style="list-style-type: none"> ・体育館あそび ・グミ作り ・なつまつり ・カヌー ・マリオカート <ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった物を探すイベント 	
7 おやつの日（おやつプログラム）は満足できていますか	12	0	0	0	0	※無記入1	おやつの日を楽しみにしてくれているお友達がひ多く、嬉しく思ひています。おやつの日を通して、準備、後片付け、食事のマナーも学んでもらえると嬉しいでひす。
8 おやつの日で出してほしい、もう一度食べたいものがあればおしえてください						<ul style="list-style-type: none"> ・フライドポテト ・ポテトチップス ・たこやき ・もんじゃ焼き ・ホットプレートを使ったおかし <ul style="list-style-type: none"> ・ミニシチュー ・プリン ・ラスクといもだんご ・ショートケーキ 	
9 ぶらっとに対する意見や要望があればおしえてください						<ul style="list-style-type: none"> ・児童にもう少しスタッフがつくといひと思ひ ・外で遊ぶイベントを多くしてほしい 	外出イベントなど、みんながワクワクできる企画をみんなにもアイデアをもらいながら検討していきまひたいと思ひます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらっと			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～	2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28家庭	(回答者数)	11家庭
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～	2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から保護者の方とお子様についての情報共有を行い、共通理解のもと支援できていること。	連絡ツール(LINE)や送迎時での引き継ぎにて、保護者の方より、お子様の状態について詳細に連絡をとってもらっている。また、事業所でも気がついたことは、速やかに保護者の方へ共有するようにしている。	日々の連絡相談体制をさらに整えると共に、定期的な面談を実施しさらに丁寧な支援につなげていく。
2	長期休暇や休日開所日、学習支援など企画イベントでは様々な活動体験ができるよう企画検討している。	どんなことだと子どもたちが楽しめるか、取り組めるかを考慮し、企画準備を進めている。	今後は企画内容について、子どもたちがより主体的に楽しみを持って参加できるよう、準備段階から子どもたちや保護者の方と情報を共有しながら、進めていくことを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応や安全確保について、保護者の方に向けた周知・情報発信が不足している。	お便り等で防災訓練等の様子を配信したり、災害時、緊急時対応等マニュアルは整備されているが、周知が不足しており保護者の方へ情報が伝わっていないことがわかった。	再度保護者懇談会等での説明を実施したり、個別で伝えていくなど情報発信をしていく。
2	保護者向けの勉強会や研修会、保護者交流の機会が少ない。	スタッフ自身の力量不足と、保護者主体の交流の機会を設定できていなかった。	親子で参加できる企画を設定しながら、気軽に保護者同士が交流できる機会を設定していく。